

副委員長総括

○業務内容

・委員長の補佐、委員長不在時の代理

委員長が企画の MC を務めたため、リハ時、及び本番時会場に居るように努めた。

・教室申請及び会場予約

3 月 28 日に会場予約願を駿河台事務室に提出した。今年度は会場を地下 1001 教室とした。会場予約願と同時にリハーサル日として、6 月 16 日の分も申請し、それに合わせてスケジュールを組んだ。念のためどのリハの日も 2 教室申請を出した。（結果的にはほぼ使わなかった。）当初は 6 月 10 日もリハを行う予定だったが、検定試験と重なり、どの教室も申請が通らなかった。使用教室の内訳は以下の通り。

日付	対象パート	使用教室	申請時間	内容
6月9日	技術、構成進行	1001教室 1063教室	1～6限	構進リハ
6月16日	技術、構成進行、企画	1001教室 1011教室	1～6限	
6月17日	技術、構成進行、企画	1001教室 1063教室	1～5限	
6月22日	技術、構成進行、企画、美術	1001教室 1063教室	5～6限	機材の設置、会場装飾、最終確認

・プロジェクターカードキーの借用・管理

5 月 28 日に許可証を提出するも、顧問の印鑑が異なるという理由で通らず、最終的に 6 月 7 日に許可証を取得することとなった。基本的にカードキーの管理は私が首から下げるという形で行ったが、本番のみ裏番会場にいた山室に首から下げてもらい、管理をお願いした。

・リハーサル、本番時の会場の管理

資料管理課から、本番のみ長机 3 つ、パイプ椅子 2 脚を借りた。用途としては、受付用、企画用だったのだが、長机の 1 つが不良品で使えず、企画パートには BOX にある机を使用してもらうこととなった。当日運搬を手伝ってくれた方々、ありがとうございました。

・各パートの進捗状況の確認

各パートのグループライン（企画を除く）、及びパート長ラインにて確認を行った

・裏番の依頼

茂木さん協力のもと、生中継行った。しかし、MIND の状態などにより中継が途絶えてし

まったため、3部はUSBを借り、直接裏番会場で映像を流していた。茂木さんありがとうございました。

・機材管理の書類、教室開室時間に関する書類の提出

防災センターに依頼し、22日の夜から23日の朝にかけて技術パートの機材などの荷物を置かせてもらい、施錠もお願いした。また、教室の開錠時間を23日の8時からに早めていただいた。尚、機材管理の書類の作成は技術パート長の安藤にお願いし、会長井出さんの署名を頂いた上での書類提出を行った。これらの二種類の書類を本番4日前の6月19日に提出したところ、受理はしてもらえた。しかし早く出すことに越したことはない。

・インタビューの作成

昨年まで宣伝パートの管轄であったが、今年度は副委員長業務とした。ラジ研長の丸山と相談し、ラジオ形式でのパート長紹介を行うこととした。

忙しい中、ラジ研の丸山、羽角、及び各パート長の協力のおかげで、音源は無事とれたのだがTwitter投稿のための動画が仕上がらず、構進パート、制作パートのインタビューが日の目をみることはなかった。

・渉外はがきの作成

美術パート長の藤田と分担して行った。はがきの印刷、ポストへの投函を行った。

・後夜祭統括

例年とは異なり、委員長と共同での後夜祭を行った。企画を出してくれたのは委員長の小橋なので、実際のところ共同とは名ばかりである。パ長に事前に協力してもらうことも多かったので感謝しかありません。技術パートの2人にもBGM、マイクの音量調整をしてもらったり、片付けには先輩方にもご協力いただく形となってしまいました。本当にありがとうございました。

○反省点

・リハーサル

時間管理ができていなかった。各パートの進捗状況や、10日に教室が取れなかったことなど様々な要因があげられるが本番までに通しリハが一度もできなかった。当日、開演時間が押してしまった要因の1つに挙げられると思う。そして、リハ後のBOXを片付けもせず、そのままの状態にしてしまったこと。大変申し訳ございませんでした。

また、22日の教室申請を6限の時間までしか行っていなかった。ポンコツ。「ナイトの時間

に他団体の使用が入っている」と 21 日に事務室から連絡があった。そのため、企画リハ、構進の 1 部のみ通して 20 時 20 分にはリハを切り上げることとなった。技術部の先輩方に相談の上、教室においておく予定の機材を一旦全て廊下に出し、待機することとなってしまった。しかし、各パートがスムーズに動いてくれたおかげで、その後は問題なく機材の設置を行い、当日の朝を迎えることができた。ご迷惑をお掛けしました。

・インタビューの作成

前述の通り、ラジオ形式でのインタビューを行ったが、Twitter 用の動画の編集が終わりませんでした。本当にすみませんでした。今までにない試みにもかかわらず、協力してくださってありがとうございました。

・印鑑

何度か書類提出を行う中で、実ほどの BOX にも事務室に登録している齋藤先生の印鑑がないことが発覚。署名を頂く際に捺印していただくべきだった。

・後夜祭

予定していた開始時刻から 30 分は遅れてしまった。今回は技術の片付け以外にも、大道具があったりしたので、もっと片付けの段取りを考えておくべきだった。また、企画の案だしを小橋にほぼ任せてしまったこと。盛り上げてくださった皆さんありがとうございました。

最後に

副委員長業務を行っていく中で、様々な方の御蔭で番発が成り立っているんだと改めて実感することができました。本当にたくさんの方にご迷惑をお掛けしたことと思います。支えなければいけない立場でありながら、実は一番皆から支えてもらっていたのではないかと思います。同期、後輩、そして先輩方には感謝の念しかありません。有難うございました。番発お疲れ様でした。

参考文献

2017 年度駿河台番発副委員長総括

【文責 千歳公美子】